

令和4年度 学校評価報告書

都城市立笛水小中学校

4段階評価【4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

本年度の重点目標	自己評価アンケートの問い	自己評価	自己評価結果の分析・考察	学校関係者評価	学校関係者の意見
感謝の心をもち、笛水をほこれる児童生徒の育成	学校は、「教育目標」の実現に努めている。	3.7	保護者、児童生徒等どのアンケート結果も、評価は概ね良好であった。	4.0	
○確かな学力の定着 ・基礎的・基本的な学力の定着 (個に応じた指導・ICTの活用) ・表現力の育成 (読書活動の充実)	先生達は、分かりやすくやる気の出る授業を行っている。	3.7	児童生徒、保護者ともに満足している結果だった。今後も個に応じた授業を工夫・改善していきたい。	3.8	○ 学校は、児童生徒が地域の行事に参加できるように、学校行事と合わせている。地域の活性化にもつながるため、今後も地域と連携して取り組んでほしい。そのために、地域としても学校の様々な活動を支援していきたい。 ○ 子どもたちは、コロナ禍で制限を受ける中、一生懸命頑張っている。特に、運動会はその姿に感動した。来年度は、地域住民にも参加してもらい、子どもたちの頑張る姿を見せて欲しい。 ○ 地域外から様々な実態をもつ子どもたちが通学する中、学習指導に苦労されると思うが、学力向上も必要だと思うので、少人数の良さも生かしながら頑張っていたきたい。 ○ 笛水小中学校や笛水地区の良さを多くの人に知ってもらうためにも、今後もホームページをはじめ、今後は公民館回覧を使用して高齢者へも積極的な情報発信をお願いしたい。
	(小) 児童は、漢字や計算などの基礎的な力が身に付いている。	3.7	児童の自己評価では、基礎的な力がついてきたと感じている児童がほとんどである。	3.4	
	(中) 生徒は、学習内容の基礎的・基本的な力が身に付いている。	3.0	生徒の自己評価では、基礎的・基本的な内容に対し、自信がないと答えた生徒もみられた。		
	先生達は、ICTを活用した授業を行っている。	3.6	主題研究の中でもICT活用に取り組んだ成果がでてきている。	4.0	
	児童生徒は、進んで読書をしている。	3.2	小学部の読書量は十分であるが、中学部の読書の在り方には課題が残る。	3.0	
○豊かな心の育成 ・社会性の育成 (学校行事・体験活動の工夫) ・不登校0の実現 ○家庭・地域との連携 ・ふるさと教育の充実 ・積極的な情報発信	児童生徒は、学校や地域の行事に積極的に参加している。	3.5	コロナ禍のため、制限された行事等もあったが、実施できた行事には一生懸命取り組んだ。	3.7	
	学校は、児童生徒や保護者の相談に真摯に対応している。	3.6	児童生徒や保護者に対して誠実に対応するよう努めたが、配慮が十分でないこともあった。	3.5	
	学校は、HPや通信等で積極的に情報を伝えている。	3.7	HPをこまめに更新し、情報提供を行った。また、学部、学年通信、各種便りも適時発行できた。	4.0	